



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 株式会社ロコガイド 上場取引所 東
 コード番号 4497 URL https://locoguide.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 穂田 誉輝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 沖本 裕一郎 TEL 03 (6368) 1052
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,192	—	285	—	278	—	196	—
2020年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 446百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	22.34	21.51
2020年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、2021年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率、2021年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 当社は、2020年6月24日に東京証券取引所マザーズに上場したため、2021年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2021年3月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,994	5,411	90.1
2020年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 5,404百万円 2020年3月期 —百万円

(注) 当社は、2021年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,873	—	505	—	489	—	340	—	38.53

(注) 2021年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	9,691,500株	2020年3月期	7,040,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	18株	2020年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	8,801,933株	2020年3月期3Q	－株

（注）当社は、2020年3月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第3四半期の期中平均株式数は記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「地域の暮らしを、かしこく、たのしく」をビジョンとし、日本の生活者の行動を変えるサービスの創出を目指し、地域の買い物のみならず、地域の生活者の暮らしに欠かせないサービスの開発にも取り組んでおります。また、さらなる事業拡大や企業価値向上に向けて、出資及びM&A等の投資を積極的に進めております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績については、売上高は1,192,208千円、営業利益は285,075千円、経常利益は278,752千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は196,638千円という結果となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

なお、当第3四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の単一セグメントから「インターネットメディア事業」「投資事業」の2区分に変更しております。

(インターネットメディア事業)

主力事業であるチラシ・買物情報サービス「トクバイ」において、新型コロナウイルス感染症の影響によりソーシャルディスタンスが求められる中、小売店舗の混雑状況を確認できる「混雑ランプ」のサービス提供を行いました。観光施設、宿泊施設、レジャー施設及びスポーツ施設等の「トクバイ」利用店舗以外でも「混雑ランプ」の導入が進み、東京都など地域の自治体との連携も飛躍的に拡大いたしました。機能面では小売企業が手軽に販促動画を作成できる「スポットライト動画」の提供を開始し、サービスの価値向上に努めました。また、連結子会社「株式会社リテール総合研究所」を設立し、小売・流通業の動向や先進事例の調査・研究を行い、解決へのアクションを提言するシンクタンクとして、業界の課題解決、発展のための支援を開始いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,192,208千円、営業利益は559,992千円となりました。

(投資事業)

当社グループの企業価値を高める出資及びM&A等の投資の検討をすすめ、株式会社タウンズホールディングス、株式会社アイスタイル等への出資を実施いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高はなく、営業損失は2,673千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,749,269千円となり、この主な内訳は、現金及び預金が2,199,902千円、営業投資有価証券3,352,908千円であります。固定資産は227,335千円となり、この主な内訳は、投資その他の資産166,420千円であります。繰延資産は18,191千円となり、これは株式交付費18,191千円であります。

この結果、総資産は5,994,796千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は433,245千円となり、この主な内訳は、前受金が254,632千円、未払法人税等が35,405千円であります。固定負債は150,169千円となり、この主な内訳は、繰延税金負債112,133千円であります。

この結果、負債合計は583,415千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,411,381千円となり、この主な内訳は、資本金が2,257,519千円、資本剰余金が2,321,947千円、利益剰余金が575,035千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、2020年10月1日に連結子会社である株式会社リテール総合研究所を設立したため、当第3四半期連結会計期間より連結決算へ移行しました。これに伴い、当四半期より連結業績予想を公表いたしますが、株式会社リテール総合研究所の連結子会社化による2021年3月期の連結業績予想への影響は軽微であることから、2020年11月13日の「2021年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました個別業績予想と同様の予想数値としております。なお、今後は連結業績予想のみの開示を予定しておりますため、個別業績予想については取り下げます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間
(2020年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,199,902
売掛金	136,371
貯蔵品	2,136
営業投資有価証券	3,352,908
その他	58,017
貸倒引当金	△66
流動資産合計	5,749,269
固定資産	
有形固定資産	60,074
無形固定資産	840
投資その他の資産	166,420
固定資産合計	227,335
繰延資産	18,191
資産合計	5,994,796
負債の部	
流動負債	
買掛金	6,093
未払法人税等	35,405
前受金	254,632
その他	137,113
流動負債合計	433,245
固定負債	
資産除去債務	38,035
繰延税金負債	112,133
固定負債合計	150,169
負債合計	583,415
純資産の部	
株主資本	
資本金	2,257,519
資本剰余金	2,321,947
利益剰余金	575,035
自己株式	△129
株主資本合計	5,154,372
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	249,734
その他の包括利益累計額合計	249,734
新株予約権	7,274
純資産合計	5,411,381
負債純資産合計	5,994,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	1,192,208
売上原価	78,282
売上総利益	1,113,926
販売費及び一般管理費	828,850
営業利益	285,075
営業外収益	
為替差益	129
その他	0
営業外収益合計	129
営業外費用	
株式公開費用	2,000
株式交付費償却	4,451
その他	0
営業外費用合計	6,452
経常利益	278,752
特別利益	
新株予約権戻入益	173
特別利益合計	173
税金等調整前四半期純利益	278,926
法人税、住民税及び事業税	69,240
法人税等調整額	13,047
法人税等合計	82,287
四半期純利益	196,638
親会社株主に帰属する四半期純利益	196,638

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	196,638
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	249,734
その他の包括利益合計	249,734
四半期包括利益	446,372
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	446,372

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月24日に東京証券取引所マザーズに上場し、上場にあたり2020年6月23日に公募増資による払込を受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ2,170,697千円増加しました。また、当第3四半期連結累計期間において新株予約権の行使が行われ、資本金及び資本剰余金がそれぞれ36,821千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,257,519千円、資本剰余金が2,321,947千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	インターネット メディア 事業	投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,192,208	—	1,192,208	—	1,192,208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,192,208	—	1,192,208	—	1,192,208
セグメント利益又は損失(△)	559,992	△2,673	557,319	△272,243	285,075

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額の△272,243千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、当社グループはインターネットメディア事業の単一の報告セグメントであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しておりましたが、当第3四半期連結会計期間より、当社グループにおける投資事業の重要性が増したため、報告セグメントに「投資事業」を追加し、セグメント情報を開示しております。

(追加情報)

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

当社は、当第3四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しております。四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりです。

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 1社
連結子会社の名称 株式会社リテール総合研究所

2. 持分法の適用に関する事項

持分法を適用した関連会社の数 1社
関連会社の名称 株式会社しずおかオンライン

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の四半期決算日は、四半期連結決算日と一致しております。

4. 持分法適用会社の事業年度等に関する事項

持分法適用会社の決算日が連結決算日と異なっておりますが、持分法適用会社の事業年度に係る財務諸表を使用しております。

5. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

①有価証券

その他有価証券（営業投資有価証券を含む）

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

②たな卸資産

貯蔵品

最終仕入原価法を採用しております。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、建物は定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次の通りであります。

建物	10年
工具、器具及び備品	4年～10年

②無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な償却年数は次の通りであります。

ソフトウェア（自社利用分）	5年（社内における利用可能期間）
商標権	10年

(3) 繰延資産の処理方法

株式交付費

3年間にわたり均等償却しております。

(4) 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案して回収不能見込額を計上しております。

(5) その他四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。